

2026年 春号

越谷市議会 議会報告

大田ちひろ 生き生きレポート

発行:大田ちひろ
埼玉県越谷市東越谷1-5-17
電話・FAX 048-962-8052

WEB <https://lit.link/chihiro0413>
ご意見・ご要望をお寄せください。
Mail:koshigaya.net@gmail.com



Facebook Instagram



越谷市議会 3月定例会報告

議案 2026年度当初予算 可決

3月定例会では、2026年度の市の事業に使う予算の審査が行われました。当初予算は一般会計で対前年度比3億円増の1,327億円、特別会計、事業会計を含めた総額は2,234億2,170万円です。

2026年度の新規事業は、

- ①遠隔操作で水管理を行うスマート田んぼダム等の調査・検討に100万円
 - ②学校給食センターの再整備基本計画作成に1,200万円
 - ③市営住宅再整備の用地測量や土地鑑定のための1,659万円
- 以上の3件です。



大田ちひろが要望・提案していた政策が反映された取組としては、

- ①こどもの意見表明のためのガイドラインの作成
 - ②学童保育室の拡充（南越谷学童保育室）
 - ③物価高騰等の影響を受けている農業経営者への支援
 - ④学校司書の1名増員や学校相談員の増員
 - ⑤不登校対策としてのスペシャルサポートルームの増設
- などが挙げられます。

議案 越谷市学校適正規模・適正配置審議会制定



どう描く？これからの学校の姿

15年後には市内の子供が約4割減ると推計されており、学級数の減少による教育環境への影響が懸念されています。

審議会では、3学園構想などの反省を踏まえ、学校の適正規模・適正配置の課題は防災、財政、公共施設マネジメント、地域コミュニティ、都市整備部門や全体的な政策を担う総合政策部門などと連携を図り、全庁的に協議を重ねて対応していくとしています。

一方で、反対した議員からは、市の明確なビジョンが示されないまま検討が進むことや、統廃合ありきになることへの懸念も出されました。

人数や効率だけでなく、一人ひとりにとってより良い教育環境となるよう、丁寧な議論と市民参加のある審議会が求められます。





問 国では2016年にいわゆるヘイトスピーチ解消法が制定されたが国政選挙や県内では特定の外国人を標的としたヘイトスピーチが行われ、本市においても特定の人々の排除をあおる言動が地域社会に不安を生じさせている。**すべてのひとの尊厳が守られるまちを実現**するためにはどのような姿勢で臨むべきと考えるか。

市長 特定の民族や国政の人々を地域社会から排除しようとする言動は人としての尊厳を傷つけ、差別意識を助長するもので、時には犯罪に繋がる恐れがある重大な人権問題であり決して許される物ではないと認識している。**講演会や相談窓口の設置等で差別解消**に取り組んでおり、**越谷駅周辺へ法務省作成のポスター掲示**を予定している。



問 **老朽化と経営改善**という**2つの課題**を抱えている市立病院。今後、長寿命化調査を行うと聞いている。調査の目的や費用、財源についての考えは。

市長 建物の耐久性や修繕箇所を把握し、今後の方向性を判断するため調査を行う。**費用は現時点では未定**だが、**財源は基本的には病院会計を想定**している。

建て替えは中長期的に必要と認識しているが、財源確保が課題であり、**移転や複合化も含め様々な可能性を検討**する。

大田の一言

まずは調査を行い、今後の方針を検討するための材料としたいとの答弁でした。しかし、老朽化は待ってられません。

調査に時間と費用をかけるのではなく、例えば、専門的に検討を行う「検討室」を設置するなど具体的な検討が必要ではないでしょうか。



民生常任委員会

当初予算(防犯カメラ)
犯罪を未然に防ぐために

通学路等に新たに**10台増設予定**で、設置箇所数は**合計414台**となります。



議案

国民健康保険条例の改正
大幅な上昇



国の方針で**子ども・子育て支援納付金課税額が新たに加わります**。また、2027年度の保険税水準の準統一に向け、1人当たりの負担は**年間25,700円と大幅な増額**となる見込みです。

〈大田ちひろプロフィール〉

- 1981年生まれ 高知県出身
- 南越谷地区在住
- 民生常任委員会

コロナ禍を経て社会の課題に気づき議員となりました。黙っていても望む社会は手に入りません。暮らしの声を市政に伝えます。

